

2 指導事例

「幼児のおやつを作ろう」～栄養満点，愛情たっぷり手作りおやつ～（1 / 7時）

(1) 本時の目標

- ・ 幼児のおやつに関心を持ち，幼児に適したおやつについて考えることができる。

(2) 準備・資料

- ・ ワークシート① ・ 資料集

(3) 指導過程

学習活動（・予想される生徒の反応）	教師の支援及び留意点	☆評価										
<p>1 中学生の自分と幼い頃の自分が食べているおやつを思い出し，発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">中学生</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">幼い頃</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">・ポテトチップス</td> <td style="padding: 2px;">・プリン</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">・焼きおにぎり</td> <td style="padding: 2px;">・たまごボーロ</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">・チョコレート</td> <td style="padding: 2px;">・あめ</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">・カップラーメン</td> <td style="padding: 2px;">・トマト</td> </tr> </table> </div> <p>2 中学生と幼児の食べているおやつを比較し，違いを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同じものだけど，食べる量が違う。 ・ 子ども用のビスケットは，一口サイズになっている。 ・ 中学生はお腹が空くからおやつを食べる。 ・ 幼児は胃が小さいから，食べる回数を増やさないと栄養が足りなくなる。 </div>	中学生	幼い頃	・ポテトチップス	・プリン	・焼きおにぎり	・たまごボーロ	・チョコレート	・あめ	・カップラーメン	・トマト	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝昼晩の三回の食事以外に食べているもの（夜食など）をおやつとして考えさせる。 ・ 生徒の家庭環境に配慮し，無理に考えさせないようにする。 ・ おやつ＝お菓子ではないことに気付かせるために，お菓子以外に食べているものに注目させる。 ・ 違いに気付かない生徒には，大きさや量などに注目するようアドバイスをする。 ・ 中学生と幼児では，おやつの目的が異なることに気付かせる。 	<p>☆幼児のおやつに関心を持ち，中学生と幼児のおやつの違いについて考えることができたか。 (ワークシート①) 【関】【知】</p>
中学生	幼い頃											
・ポテトチップス	・プリン											
・焼きおにぎり	・たまごボーロ											
・チョコレート	・あめ											
・カップラーメン	・トマト											
<p>3 幼児のおやつとして適しているもの考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> 幼児のおやつにはどんなものが適しているのだろうか？ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>消化器官の未発達</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消化にいいもの ・ 飲み込みやすいもの <p>歯が弱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 柔らかいもの ・ 噛みやすいもの <p>味覚が確立していない・味に敏感である</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 味の薄いもの ・ 甘いもの→甘すぎない方がいい → 甘い必要はないのでは <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 少ない量で栄養やエネルギーの豊富なもの ・ 好き嫌いをなくすための調理方法の工夫 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学生と幼児の身体的特徴を比較し，さまざまな視点から考えさせる。 ・ 幼児のおやつを手作りすることを想定させ，切り方や調理方法についても考えさせる。 	<p>☆幼児の身体的特徴に関心を持ち，幼児に適したおやつについて考えることができたか。 (ワークシート①) 【関】【知】</p>										
<p>4 幼児のおやつについて疑問点をワークシートに記入する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 少ない量で栄養のある食品には，どんなものがあるのか ・ 幼児のおやつは柔らかいだけでいいのか ・ 自分が幼い頃に食べていたおやつをもっと知りたい </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次時の話し合いを活発にするため，疑問点を中心に，幼児のおやつについて調べてくるように指示をする。 											

(4) 評価

- ・ 幼児のおやつについて関心を持ち，幼児の身体的特徴を踏まえた上で，幼児に適したおやつについて考えることができる。(ワークシート①)